



編集後記

寺田寅彦記念館友の会 編集部

「初冬の日記から」の掲載について

今年（2020年）春から新型コロナウイルスによる感染症が拡がっている。4月16日には全国に緊急事態宣言が出され、生活に必要な最小限の活動以外は停止された。感染者が減り、5月25日に宣言は解除されたが、政府の経済優先政策もあって、再び感染者が増え、不安な日々である。掲載文では、試験や発表会の緊張が終わった後に気が付いた、空の青さ、銀杏の輝き、のんびりしたバスの様子などが書かれていて、落ち着いた気分させてくれます。早くこのような日常を取り戻したいと思います。

『柿の種』と遊ぶ

世木田寛子様が発見された時に寺田寅彦の「茶碗の湯」の作品を取り上げて授業実践されたことや、世木田様書き込まれた『三代紀年表』と見比べながら寺田寅彦について考えられたことが綴られています。『柿の種』を改めて読み直してみてもう一度いかがでしょうか。

寺田寅彦が詠み込まれた俳句

寺田寅彦が夏目漱石から学んだ俳句ですが、このたびは四宮義正様から寺田寅彦が詠み込まれた俳句を取り上げていただいております。寺田寅彦研究において、人となりなどを学ぶ上で参考となるものと考えます。

寅彦が見た風景 7

野村様から続編で寅彦と関連のある高知・「大川筋から種崎」を紹介していただきました。寅彦が幼少の時から昭和40年代頃まで航路で人・物の移動が行なわれており、寅彦のみではなく高知の様子を窺うことができる貴重な写真も掲載させていただきます。

寅彦の情報あれこれ

このたび寺田寅彦の貴重な写真の提供を受けたことを紹介しました。また、新聞報道や新刊を含めての著書を紹介しております。訃報としてお二人の方が逝去されましたことお知らせします。

令和2年度寺田寅彦記念館友の会秋季研究会のご案内

標記の会を下記の日程で行います。順延となっていました講演です。ご参加をお願いいたします。

日時 令和2年11月15日（日）午後1時00分～

場所 寺田寅彦記念館

内容 記念講演 「竹崎音吉と寺田寅彦の逸話」

講師 竹崎 邦博 様（竹崎音吉様のお孫様 高田屋経営（奈半利町））

講師紹介 前々号の内容を再掲しております。

お住まいで経営されている「高田屋」で音吉と寅彦に関連する写真や資料を展示しておられ、音吉と寅彦のお話の他、お祖母様のご実家が寺田邸のすぐ近くの竹中家であったことなど多くの話題を持たれている方です。いろいろな逸話をお聞きすることができるのではないかと期待しております。

高田屋情報 「高知のんのんお散歩」の下記のアドレスをご覧ください。

<http://osannpo.blog.jp/archives/3454419.html>